

令和4年度 綾東こども園事業計画

事業目的

「園の主人公は子どもである」という一貫した基本認識に立ち、園の運営、教育・保育は
「子どもの最大の利益を図る」ことを念頭に置く

基本理念

子ども一人ひとりを大切に、保護者から信頼され地域にも愛されるこども園をめざす

教育保育方針 綾東が育てるこども像

- 1 じょうぶな心と体で終わりまで頑張りぬくこども
- 2 思いやりを持ち、ともだちとなかよく遊べるこども
- 3 豊かな感性と創造性を持つこども

○自然の中で、土や水、泥、山などに親しみ、五感を研ぎ体幹を育てる

○友だちとの話し合いや譲り合いを通し、協調性や協働性を育てていく

○与えられた玩具より、自分達であそびを見つけ、創意工夫をこらして発展させる

令和4年度 園児数内訳

綾東こども園

R4.3.1

クラス	口上林	山家	中上林	奥上林	桜ヶ丘	八田	綾部	中筋・豊里	市外	計	入園時期
こねこ 0歳児		1			1		1			3	7月①9月①1月①
ねこ 1歳児	2	3				3	3	1	1	13	
うさぎ 2歳児		2		1	1		3			7	
いぬ 3歳児	3		3				6		1	13	
ぱんだ 4歳児	5	5	3	1	1	2	2		1	20	
ぞう 5歳児	1	3	1	2	1		5	1	1	15	
計	11	14	7	4	4	5	20	2	4	71	

	教育標準時間認定 1号認定	2・3号認定		計
		標準時間	短時間	
こねこ 0歳児		3		3
ねこ 1歳児		8	5	13
うさぎ 2歳児		5	2	7
いぬ 3歳児	3	7	3	13
ぱんだ 4歳児	3	14	3	20
ぞう 5歳児	5	7	3	15
計	11	44	16	71

1号認定		8時～16時	8時間
2・3号認定	標準時間	7時～18時	11時間
	短時間	8時～16時	8時間

①あそび(教育と保育)

子どもの発達を見極めながらあそびの環境を整えることで、興味を探究し、集中力や発展させる力を身につけていけるようにする。

・室内環境の充実・自然環境の利用

②園の取組み

*子どもの育ちの見極めと、保護者支援スキル向上のための、職員研修の導入

*療育保育 専門性を深め、保護者に寄り添った子育ての応援

*学校との連携

東綾・上林両小中一貫校との連携を深めるため、ブロック研究会の参加や交流の発信をするなどして充実化を図る

* 地域の方との交流

行事(お泊まり保育・夏まつり・運動会・ハロウィン・力士と餅つき・発表会など)を通じた交流がほとんどできなくなっている。ZOOMなどを活用、また手紙や制作、ビデオレターなどを届けていこいの村さんや地域高齢者の方とのつながりが広がるよう工夫をしていく

* 一時保育事業

* 未就園児家庭の支援活動「たけのっ子くらぶ」(地域子育て支援拠点事業)

保護者のニーズをとらえた計画実施をめざす。まん延防止等重点措置の適応中にも活動できる内容計画の検討を行う

* 放課後学級(綾部市委託)

東綾小校区の学童保育は、感染予防対策を持続しつつ、子どもの成長のために運営を継続していく

③課題

* 新型コロナウイルスの対策

習慣になった消毒作業だが職員の負担が増えているのは間違いなく、専任の担当者を増員するなど現場を指揮する職員の負担軽減を図る。今後も正しく警戒しながらwithコロナでできる取組みを考える

* 職員の確保

就職フェアの参加、養成校への訪問、求人広告等、増員の結果につなげていく

* 園児と保護者のための取組み

参観や行事、保育参加の取組みが大幅に減少しているため、場面を考えたり、ツールを利用したりしながら、保護者と子育ての楽しみや喜びの共有ができるように取組みの工夫をしていく。

* 職員のメンタルヘルス

職員一人ひとりの力量やライフスタイルを把握し、心身の負担が士気を下げ離職につながらないように、引き続き管理職による聞き取りや臨床心理士の指導のもと、カバーやケアの方法を獲得していく。

* 保育教諭確保のための取組み

養成校はもとより、高校に下って保育教諭を希望する人材の育成につながるような、企画や営業を展開させていく

◎自然豊かな環境での保育の楽しさに気づいていない学生が多い(就職フェアなどで学生との会話から)

連続して養成校と連携を図り、学生の園体験や保育体験等を企画して、園紹介を兼ねながらより良い保育の現場の理解につなげていく